

臨床研究等の情報公開

研究課題名	切除可能および切除可能境界膵癌における術前化学療法の有効性に関する青森県内多施設共同後向き研究
研究機関	弘前大学大学院医学研究科、弘前大学医学部附属病院 青森市民病院、青森県立中央病院
研究内容	<p>膵癌は5年生存率が10%未満の極めて予後不良な疾患です。多くの癌の治療成績が改善しているのにも関わらず、膵癌の治療成績はなかなか改善されていません。最近、膵癌に対する術前化学療法が治療成績を改善させる効果があることが報告されています。</p> <p>しかしながら、術前化学療法の有害事象（副作用）などから全身状態が悪化し、最も重要な手術の機会を逸してしまうこともあります。そのため、術前化学療法が膵癌の治療成績を本当に改善するかについては、まだ研究結果が十分ではない状況です。</p> <p>そこで、過去に当院にて膵癌の治療をお受けになった患者さんの診療情報を集め、膵癌に対する術前化学療法の治療成績改善効果を明らかにすることを目的とします。</p>
実施期間	実施許可日～令和7年12月31日
対象者	2013年1月から2022年12月までの間に、通常型膵癌に対して当院にて治療を受けた方を対象とします。
実施方法	<p>通常診療の範囲内で得られた既存の情報を解析します。新たに検査や治療を追加するものではありません。当院のカルテを利用し、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査、手術関連情報、切除組織の病理所見、術後経過などの情報を、標記研究課題実施のために利用します。</p> <p>本研究では、カルテから収集した情報を基に、膵癌に対する術前化学療法の有用性について統計学的解析を行います。この結果は普遍的である必要があり、複数の施設のデータを合わせて解析を行います。そのため、弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座へ得られた情報を提供します。</p>
参加撤回の自由	患者さん個人が特定されるような情報は利用せず、公開もしません。患者さん本人、またそのご家族が解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外します。その場合、診療において不利益となることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済みの場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますのでご了承ください。
問合せ先	研究分担者：院長 豊木 嘉一 〒030-0821 青森市勝田一丁目14番20号 青森市民病院 外科 Tel：017-734-2171（代表）